



「新入生歓迎の言葉」

岩手県立農業大学校 校長 竹澤 利和

新入生56名の皆さんを、職員一同、心から歓迎いたします。

現在、農業を取り巻く環境は、担い手の減少・高齢化をはじめ、頻発する気象災害、生産資材価格の高止まり、さらにトランプ関税に端を発する世界経済の混乱など大きく変化していますが、本県の農業は、食品産業や観光業など他産業への波及が大きい裾野の広い産業であり、地域経済を支える基幹産業として、将来にわたり持続的に発展していくことが重要です。

本校は、高度な専門的知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた農業・農村の担い手を育成し、社会の期待に応えていくという大きな使命を有し、豊かな創造力と感性を持った優れた人材の育成に取り組んでいます。

大学校での2年間は、瞬く間に過ぎていきます。新入生の皆さんは、それぞれが持つ目標の達成に向け、あらゆる分野で自己の可能性に挑戦し、豊かな感性や自ら考え行動する主体性、さらに決して諦めない粘り強さを磨き上げていくよう充実した学生生活を送っていただきたいと思います。

岩手県立農業大学校は、皆さんの目標達成と社会に貢献できる人材に成長できるよう、できる限りの支援をさせていただきますので、ともに本県農業の持続的な発展に向けて突き進んでいきましょう！！



学生自治会長として

学生自治会長 阿部 誠也（酪農経営科2年）

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは皆さんを心より歓迎いたします。

学校や寮生活等では慣れないことの連続で不安を感じると思いますが、困った時は気軽に聞いてください。私は、学生自治会長として皆さんが楽しく、充実した学校生活を送れるよう精一杯サポートしていきます。今年度は4月にあった歓迎会のように昨年まで行うことができなかった行事や現在も行われている行事をはじめとし、昨年より良く改善、企画していきます皆さんが楽しく充実できるよう運営に努めていきたいと考えています。ですが、企画には私たち自治会役員だけでは限りがありますので皆様には積極的な意見を出していただきたいです。皆さん、一緒により良く充実した学校を作っていきます！！



一緒に盛り上げていきましょう！（2年生38名）

新 入 生

農産経営科



農産経営科1年 川村 嵩（かわむら たかし）

実家の米農家を継ぐために入学しました。当初は、同じ学校でも別の学科の人が多く、なかなか馴染めずにいました。しかし、専攻実習や寮生活で接する機会が増えるにつれ、予想よりも早く仲良くなることができました。寮では先輩方が優しく声をかけてくださり、分からないことも丁寧に教えてくれるので、のびのびと過ごせています。

僕は普通科高校の出身なので、農業高校出身の人たちに差をつけられないよう努力したいです。2年間という短い期間ですが、これからも仲間と協力しながら、楽しく充実した学生生活を送りたいです。

農産経営科1年 山川 真純（やまかわ ますみ）

祖父の後を継ぎ、米作りをするため入学しました。入学してすぐは、農業の知識もなく体力にも自信がないので授業についていけるか不安がありました。ですが今は、個性豊かな先生と共に学ぶ仲間のおかげで充実した生活を送ることができています。

将来は高校で取得した調理師の資格を活かし、お米のおいしさを広く伝えたいです。そのために、卒業までの2年間でたくさん成長したいです。

野菜経営科



野菜経営科1年 今野 七虹（このの ななこ）

私は普通科高校の出身で、講義や実習についていけるか不安でした。しかし、先生方の説明が丁寧で分かりやすく楽しく学ぶことが出来ています。寮生活も不安でしたが、先輩方が優しく教えてくださり、他の経営科にも仲間ができて、楽しく生活出来ています。

2年間と短い時間ですが、面白くて楽しいクラスの皆と様々な事に挑戦していきたいです。そして野菜経営についてしっかり学び、将来に活かせるように頑張りたいです。

野菜経営科1年 佐藤 楽（さとう がく）

3年半の農業経験を経て、社会人卒で入学しました。

一回り下の世代との学生活動や寮生活に不安がありましたが、仲間に恵まれ、充実した日々を送っています。実習では、これまでの仕事とは異なる栽培方法を学べるので、非常に勉強になっています。

2年間という短い時間の中で、必要な資格を取得し、栽培と農業経営の知識を深めていきます。若い世代との交流を通じて刺激を受けながら、将来の独立に活かしていきたいです。

果樹経営科



果樹経営科1年 佐藤 光之助（さとう こうのすけ）

私は高校の農業科で3年間学びましたが、果樹については学ぶ機会がありませんでした。また、宮城県に住んでいたため、他県で農業を学ぶのも良い経験だと思い、入学しました。

入学当初は新しい環境での生活に不安がありましたが、先輩方と話してみると皆さん優しく接してくれ、担任の先生にも気軽に分からない事を聞けて、楽しく前向きに勉強できる環境だと感じました。農家として働けるよう、この2年間で知識と技術を習得したいです。

果樹経営科1年 高橋 輝（たかはし こう）

私の祖父母の家ではぶどう栽培を営んでいます。盛岡農業高校で農業のことを学んできましたが、さらに栽培技術や知識を深めたいと思い入学しました。

入学後、寮生活や学校生活に不安がありましたが、先輩方や先生などから様々なことを教わって楽しく過ごしています。2年間というあっという間の期間ですが、自分の将来に繋がれるような知識や技術を学んで、研究に活かしていきたいです。

ツセージ

花き経営科



花き経営科1年 茅橋 結（かやはし ゆい）

私は、将来家業である花き農家を継ぎたいと考え、入学しました。高校で3年間、寮生活を経験していたため、生活面での不安は少なく学習に力を入れることができています。これからは高校で学んだことに加え、新たな栽培知識や技術習得、資格や免許取得に向けてさらに勉強に励みたいです。また、友人や先生方と活発に意見を交わし、将来の経営に活かすことができる知識を養いたいです。

花き経営科1年 澤村 奏良（さわむら そら）

私は、祖父の影響で花き栽培に興味を持ち、将来は花き関係の仕事がしたいと考え入学しました。農業の学習や寮生活を高校でもしてきたことにより、あまり苦労は感じていなかったのですが、本格的な学習が始まる各専門分野など分からないことばかりで、高校では学ばなかった知識の習得にとっても苦戦しています。それでも新しい学習をすることで自分自身の視野を広げられ、以前よりも農業を身近なものとして考えられていることに嬉しさを感じています。これからの2年間、仲間と共に学び、将来に向けて意欲的に活動していきたいと思います。

酪農経営科



酪農経営科1年 伊藤 和花（いとう わか）

私は動物、特に牛に関わる仕事がしたいと考え、入学しました。普通科高校出身で、実家も農家ではないため、ついていけるか不安でしたが、先生や友達に支えられながら楽しく生活しています。

高校で学んだ「化学」や「生物」の知識を活かして乳牛への理解を深め、多くの資格を取得し、将来の就職につなげたいと考えています。2年間という短い時間ですが、めいっぱい学び、楽しみたいと思います。

酪農経営科1年 田村 晃太郎（たむら こうたろう）

私は将来、実家の酪農業を継ぐために入学しました。農業高校出身ではないため、入学当初は授業についていけるか不安でした。

しかし授業が始まると先生方が丁寧に教えてくださり、知らなかったことを次々と学ぶことができています。また、寮生活にも不安がありましたが、寮の仲間たちが優しくルールを教えてくれたおかげで、今では楽しく暮らすことができます。2年間という限られた時間の中で、資格取得や日々の実習・授業を通して、酪農家として必要な知識と技術をしっかり身につけていきたいです。

肉畜経営科



肉畜経営科1年 川村 昂龍（かわむら すばる）

私の実家は和牛繁殖と水稻を営む農家です。将来、家業を継ぐため、高校で学んだ牛に関する知識と技術をより深めたいと思い、入学しました。入学してすぐは不安もありましたが、わからないことは先輩方から優しく、丁寧に教えていただき、不安な気持ちは一気に晴れました。これから2年間、新しい仲間と共に将来、農業を担う者として牛だけでなく農業全体の知識と技術を身につけるため頑張りたいと思います。

肉畜経営科1年 寺平 かいり（てらだいら かいり）

私は和牛の中で希少な日本短角種について勉強したくて長野から来ました。ここで資格を取得して将来繁殖と肥育の一貫経営をしたいと考えています。地元から遠く離れるのは少し寂しいですが、たくさんの仲間と毎日過ごして充実しています。

ここで牛についてしっかり学び、日本の畜産業を支えたいです。2年間という短い間ですが座学、実習ともに励んでいきたいです。

入学式



学生自治会長から歓迎の言葉



新入生代表による誓いの言葉

4月9日（水）、令和7年度入学式を本校体育館で挙行し、本科新入生56名（農産園芸学科42名、畜産学科14名）が入学を許可されました。

入学許可の際、担任からの呼名に対して一人一人から力強い返答があり、夢に向かう強い決意が感じられました。

次に、式辞として竹澤利和校長が、「新入生諸君は、実践教育・先進教育・全寮制教育という本校の三つの特色をよく理解し、それぞれが持つ目標の達成に向け、あらゆる分野で自己の可能性に挑戦してほしい」と述べました。

その後、佐藤法之郎農林水産部長による知事告辞があり、来賓の工藤大輔県議会議長、後援会会長の高橋寛寿金ケ崎町長から祝辞を賜りました。

続いて、学生自治会長の阿部誠也さん（酪農経営科2年）が、「皆さんを心から歓迎する。農大では、農業の基礎的な知識や技術、経営手法を学びながら、事例研究で視野を広げることができる。寮生活では、生涯の仲間をつくることができる。二年間、仲間たちと励ましあい乗り切ってほしい。困ったときは、在校生がサポートするので、遠慮せずに声をかけてほしい。」と歓迎の言葉を述べました。

引き続き、新入生代表の佐々木芽生さん（野菜経営科）が、「これから2年間、この緑豊かで雄大なキャンパスの中で、農業の専門知識や技術を身に付けていくことに大きな喜びを感じるとともに、農業界を担う人材になるという使命感を抱いている。私たち若い世代だからこそできること、思いつくアイデアがある。日本の農業のために何ができるのかを意識して勉強に励みたい。」と決意を述べました。

会場は、花き経営科の2年生が制作した生花で彩られ、新入生はそれぞれの夢と希望の実現に向け、大学校生活をスタートしました。

令和6年度卒業生51名の進路

（令和7年3月31日現在）

進路		人数	内訳
就農		4	二戸市、軽米町、花巻市、秋田県
雇用就農 （農業法人等）		16	裕行ファーム(株)、ベルグアース(株)、(有)東部開発、(株)GRA、(株)イグナルファーム、(株)オヤマ、仙台ターミナルビル(株)・JRフルーツパーク仙台あらはま、(株)HORSE&MUSH、(株)久慈平岳牧場、(株)あんばい牧場、(株)岩手パイオニア牧場、(一社)家畜改良事業団盛岡種雄牛センター、MKグリーンファーム
農業研修		1	Bredefleur（オランダ）
進学		4	岩手大学農学部、新潟大学農学部、帯広畜産大学畜産学部、秋田林業大学校
就職	農業団体	13	JAいわて中央、JA岩手ふるさと、JAいわて花巻、JA新しいわて、JA江刺、JAいわて平泉、JA秋田ふるさと、JAさがみ、全農いわて
	農業関連企業等	7	ヤンマーアグリジャパン(株)、(株)丸山製作所、クボタアグリサービス(株)、鈴木農機(株)、(株)みちのくクボタ、エム・エス・ケー農業機械(株)、(株)純情米いわて
	公務員等	2	岩手県農業公社、（独）家畜改良センター
	一般企業等	3	(株)ロフティ、(有)小専商店、(株)マーキュリー

今後の主な行事予定

月 日	内 容	月 日	内 容
6月3日	知事講話	7月26日、8月1日	オープンキャンパス
6月20日	学生自治会スポーツ大会	8月28～29日、9月1～2日	前期定期試験（本科1年）
7月25日～8月17日	夏期休業	9月17日～10月3日	農家派遣実習